

第32回 琵琶湖部会提出意見

平成17年4月13日

しっかりしてや 琵琶湖部会！！！！！！！！

彦根市新海浜 井上哲也

淀川水系流域委員会では第2回(参考資料4 参照)より水位操作が原因の1つである琵琶湖湖岸の水害(侵食)について幾度となく報告してきましたが、滋賀県においては、地元新海浜自治会の反対にもかかわらず、河川法第16条の二の3に基づく淡海の川づくり検討委員会地域委員会の継続審議もなく、出席者への確認もない行政の地域協議会等の議事要旨の作文をもとに新海浜の浜欠け対策の突堤工事が実施されようとしています。説明のない中で住民意見の反映されない工事開始の連絡に地元住民は当惑しております。当地の浜欠けについては、平成13年6月8日の琵琶湖部会の新海浜視察の際は、住民相手に専門家として、えらそうに解説されていた河道形状・土砂移動の専門家はいましたが、その後の淡海の川づくり検討委員会(江頭進治委員長)でも有効な対策を提言できず(せず)、多額の予算を伴い景観、環境を著しく悪化させる工事が漫然と行われようとしています。



琵琶湖部会

ニュースレター

2-3号より

一方で、3/24 琵琶湖河川事務所 記者発表の

琵琶湖の環境保全・再生のための瀬田川洗堰試験操作と諸調査について

http://www.biwakokasen.go.jp/media/pdf/050324_biwahozen.pdf

では、本業の治水(侵食=水害)、利水の琵琶湖の総括についてはあえて触れず、環境対策で水を濁しているようにしか見えません(第Ⅲ期については記述なし)。

上記をみるといづれにしても、4年もかけて自画自賛でおわり、素人でもわかっていたこと(水位操作見直し)を、これからやるという淀川水系流域委員会には大いに不満です。琵琶湖総合開発の総括を行い、当初の予定どおり2年で終わっていれば上記のような滋賀県の暴走もなかったと考えます。

第2期の琵琶湖部会委員におかれては、直轄河川以外の琵琶湖についてもしっかりと琵琶湖総合開発の検証を行い、意見を述べるようお願いいたします。

以上

添付資料：滋賀県による侵食対策工事の経緯資料 (下線、黒塗り等は井上加筆)

(2) 淡海の川づくり検討委員会 新海浜地域委員会

開催日 平成14年11月29日(金)

場所: 湖東地域振興局 消費生活センター研修室

委員名簿

	氏 名	所 属 等
地 域 委 員	関 係 機 関	末田 雄士 湖東地域振興局環境農政部環境課長
		竹田 恭一 土木交通部都市計画課長
		川上 毅 琵琶湖環境部自然保護課長
	漁 業	粟野 圭一 県水産試験場長
	関係自治体	中島 一 彦根市長
	地域住民 代表	新海町自治会代表
		新海町自治会代表
		新海浜自治会代表
		新海浜自治会代表
	関 係 団 体	井上 哲也 GreenWave緑とやすらぎのある新海浜を守る (代理) 中野 会代表
		彦根市磯田漁業協同組合長
環 境 等		滋賀県生物環境アドバイザー
		滋賀県生物環境アドバイザー

■主な意見

意 見	発言者
愛知川河口部左岸側の湖岸についても状況はどうなっているのか?	
愛知川左岸と右岸の両岸を一体として調査すべきではないか。	
愛知川をどうしていくのが基本だ、長期的な視野で検討していきたい。	
ハマゴウの群落は昔もっと西側にあった。保護も大事だが増殖も考えてはどうか?	
カワラアカザは波打ち際に自生しており、保護が難しい。砂を盛ることで消滅させないでほしい。	
ハマエンドウの県内分布は限られており、浜欠けによって危機的状況である。	
貝類・水草保護をどうしていくか? 工事前後のモニタリング調査を行ってほしい。	
ハマゴウの保護は工事関係者に周知徹底をしてほしい。	
養浜に使用する砂は、現在の沖合の粒径と貝類の大きさを考慮して選定してほしい。	
砂利採取をやめてからどれくらいになるのか?	
湖西と湖東では波が違う。北西の風に乗って湖西からきた砂が窪地に落ち込んでいるのではないか?	
ダムの堆砂量、これまでの砂利採取量のデータがほしい。	中野
ハード面においてはヨシ帯の再生に粗朶沈床、ソフト面においては土砂の管理を近自然管理で行うなど他の提案も出すべきである。	中野
工事は単年度でするのか? 一度に施工するのであれば環境負荷が大きいので避けるべきである。事業計画は20~30年のスパンで考えてほしい。	中野
県の事例にとらわれず、全国・海外の事例まで参考にしてほしい。	中野

■まとめ

いただいた意見は、今後、詳細設計の参考にするとともに地域委員会との協議は継続していく。
湖岸整備の工法については、突堤、緩傾斜護岸、養浜に限定しないで、幅広く検討することが重要であるとの意見を踏まえ、「突堤、緩傾斜護岸、養浜等」に修正することで承認された。

以下井上加筆

本議事要旨については、H17.3.25付で 湖東地域振興局 建設管理部長より、日本防護工連合会の求めにより 情報公開の必要が生じたため、出席者に対し公開の諾否の照会があった。

平成16年3月15日

滋賀県知事 國松善次 殿
滋賀県湖東地域振興局
新海浜河道整備事業地域委員会 殿

彦根市新海浜自治会
会長 [REDACTED]

新海浜地区侵食対策工法に関する要望書

平素は当町関係諸問題について、格段のご指導ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、平成15年11月3日に開かれました新海浜河道整備事業地域協議会に於いて提案されました湖岸の侵食対策工法につきまして当町の年度末総会（2/29）にて報告を行いましたところ、突堤方式での施工法に対し問題点を指摘する意見が数多くあげられ（別紙1）採決の結果、「新海浜自治会の総意として反対し、再度検討希望を提案する」と採択されました。また、現実にはここ2年間、冬期の柔軟な水位調整により大きな規模の浜欠けは、ほとんど発生しておりません。この様な事実と、当自治会員の意向を十分に考慮頂きまして、この美しい湖岸の風景を後世に残せる工法を、再度検討して頂きたいと要望致します。

平成17年3月24日

新海浜自治会
会長 [REDACTED] 様

滋賀県湖東地域振興局

建設管理部河川砂防課長

新海浜地区侵食対策工法に関する要望について（回答）

早春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素から県河川行政には格別のご理解をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、標記の件については平成14年11月29日の新海浜河川整備計画地域委員会を皮切りに侵食対策工法の説明、意見交換を行ってまいったところです。

また、平成16年6月27日には貴自治会に対して同様に説明、意見交換を行い一定のご理解をいただいたものと認識しております。近年顕著な浜欠けが起こっていないとはいえこのまま放置することは決して望ましいとは考えられません。

貴自治会皆様にとって必ずしも本意ではないかも知れませんが、考え得る様々な工法のなかからこの地区の条件を念頭に、出来るだけ多くの方々との合意を目指して、最も現実性のある効果的な工法として突堤+養浜工を提案し採用するに至ったものです。

併せて、ご指摘のありました今後の維持管理の重要性を深く認識し、また将来の変化にも柔軟に対処してまいりたいと考えています。

570-3
については、ぜひご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

新海浜 浜欠け対策 工事の問題点

1. 手続上の瑕疵

- ・河川法の住民意見の反映の手続きがなされていない。一部の地域関係者にのみ情報提供が行われただけで、住民、市民、県民に不在のなかでの計画策定。
- ・協議会の位置づけが説明されていない。
- ・協議会は協議ではなく、行政サイドで決まったものの説明会になっている。

(突堤は15年9月の湖東圏域河川整備計画(案)に示されている)

- ・滋賀県公共事業環境こだわり指針に反している。
- ・淡海の川づくり会議の愛知川の河川整備計画、琵琶湖湖岸の河川整備計画との連携、情報共有がまったくなく、
- ・水位操作検討を盛り込んだ淀川水系流域委員会の意見、淀川水系河川整備計画基礎原案等も、考慮されていない。
- ・琵琶湖河川事務所の水位操作の運用面対応が説明されていない。
- ・住民は再三、突堤工法の有効性には疑問を呈し、調査の継続を求めている。

以上、河川法で定められた住民意見の“反映”(聴取ではない)がなされていない。

2. 直接的原因の除去に対する不十分な対応

・行政担当者が主原因と認めている 1. 愛知川からの土砂供給の減少 2. 琵琶湖総合開発以降の水位操作についてなら対策のない中で、対症療法(泥縄、マッチポンプ)とも言える対策を行われようとしている。

- ・原因の1つである愛知川からの砂利採取が、河道確保の名のもと今も行われている。
- ・愛知川河口部分の形状の変化による影響について考察されていない。
- ・直接的な原因を取り除く努力なく、まず工事ありきの計画が策定されている。

3. 突堤工事そのものの問題

- ・過去の突堤、養浜工事では、ノコギリ状の親水性の悪い浜が残されている。
- ・コストが高いとされるBMS工法について根拠となる比較数値が示されていない。
- ・水位+波高が、1m以上でおこるということであれば、今後、水位操作が見直された場合、対策は不必要となる可能性が高い。

この点については既に、琵琶湖河川事務所の水位操作の運用の中で春先の+30cmについてはそうならないよう試験検討が行われている。

4. 環境および景観への影響

- ・住民、市民、県民の財産である白砂青松の景観の著しく悪化する。
- ・湖流の変化による生態系への影響が懸念される。
- ・希少植物が確認されていて、移植、工事による悪影響がある。
- ・移植によって保全される保障はなく、地域の植生分布が、改変される。

2005/4/11号

WAVE
新海浜

湖岸改修工事の県説明会開催要求！

SINGAIHAMA COMMUNITY NEWS

新海浜自治会 広報部

改修工事開始に伴う問題点！

まもなく新海浜湖岸全域が 年内使用できなくなります！

工事開始に伴う日常生活への影響！

- 年内湖岸が使用できない事の影響
- 猛烈な工事車両通行による交通安全面
- 生活道路（東進入路）規制による影響
- 水泳場閉鎖に伴う対外的影響
- 児童に対する交通安全面の対策
- 地区内治安に対する対策

などさまざまな問題が浮上してくると思います。
つきましては県に要請して下記日程で地元説明会が開催されますので
質問、知りたい事項要望などを当日県になげかけてください。

●日時／4月16日（土）＊午後6時30分より

●場所／新海浜自治会館（浜風館）

★自治会館に詳しい工事関係資料図面などがありますので自由に閲覧してください。

工事日程表と工事区域

平成16年度 第1、501号 琵琶湖(新浜地区)補助河道整備(統合)工事

琵琶湖みずべみらい再生(湖岸保全)工事

作業工程

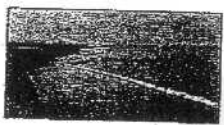
自平成 17年 3月22日

至平成 17年11月30日

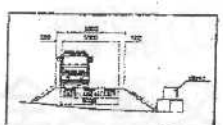
株式会社 向茂組

工 種	種 別	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		10: 20	10: 20	10: 20	10: 20	10: 20	10: 20	10: 20	10: 20	10: 20	10: 20
準備工	施工計画 現地調査										
汚濁防止フェンス設置											
河道整備部	養浜砂2:8搬入盛土										
工事用道路・作業ステージ設置	大型土のう 敷鉄板										
突堤工 A B C	鋼矢板打設 袋詰玉石 自然石張										
養浜工	養浜砂10:1搬入盛土										
維持補修部	養浜砂10:1搬入盛土										
工事用道設置	大型土のう 敷鉄板										
養浜工	養浜砂10:1搬入盛土										
汚濁防止フェンス撤去 敷鉄板撤去搬出											
跡片付											

汚濁防止フェンス設置



工事用道路・作業ステージ設置



突堤工構造図



鋼矢板打設



袋詰玉石製作



自然石張工



仮設計画図(2)

S=1:1000

仮設工平面図(養浜工施工時)

